



NISSIN SERVICER  
IR PERSONALITY

vol. **7**

第6期  
中間期報告書

平成18年4月1日▶平成18年9月30日



ニッソコ債権回収株式会社

NIS GROUP

# 順調な債権回収の進捗と、共同買取業務等による収入の



社長挨拶

代表取締役社長兼執行役員

あまの かすまさ  
天 野 量 公

## ■ ご挨拶

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

第6期中間期報告書をお届けするにあたり一言ご挨拶申し上げます。

当中間期における当社グループを取り巻く環境は、景気回復に伴う不良債権市場の縮小懸念や、参入業者数の増加による競争激化により、益々厳しさを増してきております。

このような厳しい環境のもと、当社グループは積極的な営業活動と投資の多様化により、上期におきましては不動産が中心となったものの、投資総額としてはほぼ予定通りの実績をあげることができました。また、利益面におきましては、順調な債権・共同投資案件の回収進捗により、当中間連結会計期間においては、当初計画を上回る実績を計上することができました。また、これに伴い、通期の予想につきましても上

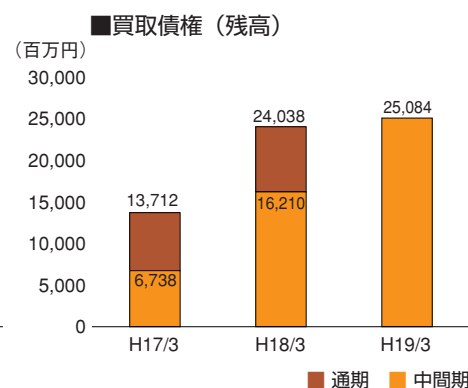
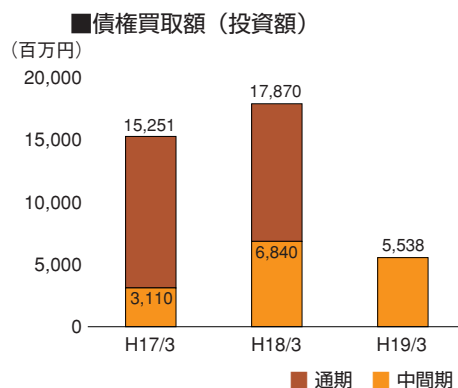
方修正いたしました。(詳細につきましては、p8を参照下さい)

なお、当中間期より投資事業組合に関する会計基準の新ルールを適用したことによる影響額が、連結貸借対照表および損益計算書に反映されております。(影響等につきましてはp3を参照下さい)

今後も株主の皆様のご期待にお応えできるよう、着実な成長を目指してまいりますので、一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## ■ 連結業績概要

当中間連結会計期間の業績につきましては、金融機関との継続取引および新規取引の開拓に努めました結果、債権買取額(投資額)は5,538,267千円(前年同期比19.0%減)、買取債権残高は25,084,788千円(同54.7%増)となりました。また不良債権処理の一環として取得した不動産買取額(投資額)は8,469,669千円(同192.7%増)、



# 増加により利益が拡大。

買取不動産残高は14,519,632千円となりました。

営業収益につきましては、効率的な債権回収の進捗により買取債権回収高は8,552,204千円(前年同期比73.3%増)、買取不動産売却高は2,292,118千円(同43.4%減)、債権共同買取業務等に伴う受託手数料およびその出資収益等によるその他収入1,229,589千円(同232.6%増)となり、合計では12,073,912千円(同29.1%増)となりました。

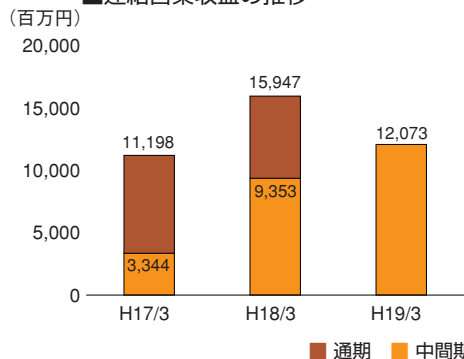
営業費用につきましては、買取債権回収高に伴う債権回収原価5,755,071千円(前年同期比86.3%増)、不動産売却に伴う買取不動産売却原価1,182,584千円(同57.6%減)となり、その他19,120千円(同563.0%増)を合わせ、合計では6,956,775千円(同18.3%増)となりました。この結果、営業総利益は5,117,136千円(同47.4%増)となりました。

販売費および一般管理費につきましては、主に給与手当280,330千円(前年同期比30.7%増)、貸倒引当金繰入額696,566千円

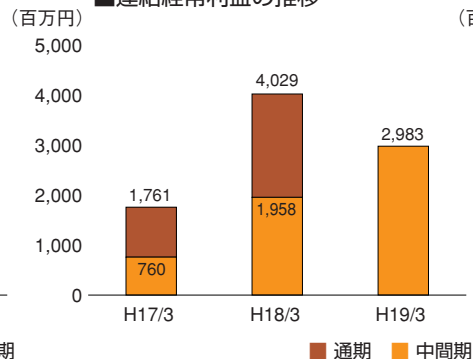
(同17.5%増)、ストック・オプション発行に伴う株式報酬費用120,134千円等を計上し、合計1,865,617千円(同39.4%増)となりました。この結果、営業利益は3,251,519千円(同52.4%増)となりました。

営業外収益は、85,809千円(前年同期比156.3%増)となり、営業外費用につきましては、主に資金調達拡大に伴う支払利息320,533千円(同81.7%増)等により、合計で354,310千円(同70.0%増)となりました。この結果、経常利益は2,983,018千円(同52.3%増)となり、法人税関連費用1,088,561千円(同33.1%増)、少数株主利益451,186千円の計上により、中間純利益は1,443,270千円(同26.6%増)となりました。

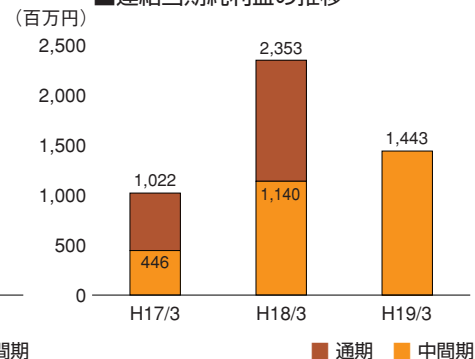
■連結営業収益の推移



■連結経常利益の推移



■連結当期純利益の推移





**投資事業組合に対する会計処理を変更したそうですが、変更したことによる影響について教えてください。**

「投資事業組合に対する支配力基準及び影響力基準の適用に関する実務上の取扱い」(企業会計基準委員会 平成18年9月8日 実務対応報告第20号)の公表により、NISグループとして投資事業組合に関する支配力・影響力基準を厳格化いたしました。これによる中間連結業績への影響額は下表のとおりです。

なお、当社では、従来より匿名組合の損益等については当社持分の損益を取り込んでいるため、純利益に対する影響は軽微です。

主な影響科目

単位：億円

科目	変更前	変更後	差異
買取債権回収高	64	85	20
買取不動産売却高	0.3	22	22
匿名組合出資収益	8	7	△1
営業収益合計（その他含）	77	120	42
営業利益	20	32	12
営業外収益	8	0.8	△7
経常利益	25	29	4
少数株主利益	△0	4	4
中間純利益	14	14	0

に回答申し上げます。



### 昨今の「グレーゾーン金利」問題は、 ニッシン債権回収にも影響があるのでしょうか？

サービサー法では、貸金業者の貸付債権もサービサー業者が取扱うことができるとされておりますが、一方で利息制限法の制限額を超える利息を請求してはならないこととされております。

したがって、当社では基本的に当該債権を買取の対象としていないため、昨今の「グレーゾーン金利」問題についての影響はありません。



### 今期の配当予定について教えてください。

当中間期末の配当金につきましては1株当たり365円とさせていただくことを決定いたしました。

また、期末の配当金も1株当たり365円を予定しており、現時点での予想年間配当金は1株当たり730円となります。

なお、当中間期末の配当支払開始日は、平成18年12月11日です。

中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

区分	前連結会計年度末 (平成18年3月31日現在)	当中間連結会計期間末 (平成18年9月30日現在)
<b>【資産の部】</b>		
流動資産	32,917	46,601
現金および預金	3,191	5,015
買取債権	24,038	25,084
買取不動産	6,126	14,519
繰延税金資産	720	723
その他	632	3,314
貸倒引当金	△1,791	△2,057
固定資産	7,985	6,003
有形固定資産	25	28
無形固定資産	8	10
投資その他の資産	7,951	5,964
資産合計	40,903	52,604
<b>【負債の部】</b>		
流動負債	19,781	23,857
短期借入金	8,290	10,616
1年内返済予定長期借入金	8,993	11,121
1年内償還予定社債	60	160
未払法人税等	1,385	1,157
賞与引当金	—	46
役員賞与引当金	—	5
その他	1,051	751
固定負債	14,472	20,511
社債	90	460
長期借入金	14,382	20,051
その他	0	—
負債合計	34,254	44,368
<b>【少数株主持分】</b>		
少数株主持分	—	—
<b>【資本の部】</b>		
資本金	1,695	—
資本剰余金	1,481	—
利益剰余金	3,472	—
資本合計	6,649	—
負債、少数株主持分および資本合計	40,903	—
<b>【純資産の部】</b>		
株主資本	—	7,665
資本金	—	1,719
資本剰余金	—	1,506
利益剰余金	—	4,440
新株予約権	—	120
少数株主持分	—	449
純資産合計	—	8,235
負債および純資産合計	—	52,604

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 営業資産について

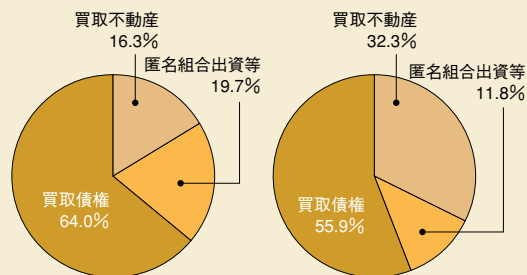
買取債権および匿名組合出資等の回収が進捗したこと、また買取不動産の投資が増加したことから、当中間期の営業資産は44,907百万円となりました。

H18/3

合計 37,589百万円

H18/9

合計 44,907百万円

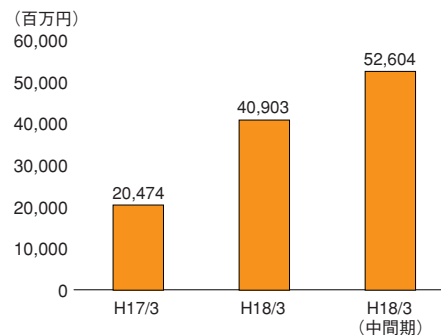


(注)投資その他の資産のうち匿名組合出資等の金額は、H18/3 7,424百万円、H18/9 5,302百万円です。

■ 有利子負債について

当中間期の有利子負債合計は、42,409百万円、期末加重平均調達金利は2.1%となりました。

■ 総資産の推移



## 中間連結損益計算書

(単位:百万円)

区 分	前中間連結会計期間 (自 平成17年4月 1日 至 平成17年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成18年4月 1日 至 平成18年9月30日)
営業収益	9,353	12,073
買取債権回収高	4,934	8,552
買取不動産売却高	4,048	2,292
その他	369	1,229
営業費用	5,882	6,956
債権回収原価	3,088	5,755
買取不動産売却原価	2,790	1,182
その他原価	2	19
営業総利益	3,470	5,117
販売費および一般管理費	1,337	1,865
営業利益	2,133	3,251
営業外収益	33	85
営業外費用	208	354
経常利益	1,958	2,983
税金等調整前中間純利益	1,958	2,983
法人税、住民税および事業税	962	1,140
法人税等調整額	△144	△52
少数株主利益	—	451
中間純利益	1,140	1,443

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## ■ 営業総利益について

主な内訳は以下のとおりです。

買取債権回収益	2,797百万円
不動産売却益	1,109百万円
匿名組合出資収益	759百万円

## ■ 主要な経費について

## ① 給与手当280百万円

管理・アセットマネジメント部門を中心に人員が増加しております。

従業員数 H17/9 64名→H18/9 80名

## ② 貸倒関連費用697百万円

担保付債権の増加により、引当率は低下しております。

貸倒引当率 H17/9 10.0%→H18/9 8.2%

## ■ 支払利息について

有利子負債の増加に伴い、支払利息は320百万円(前年同期比81.7%増)となりました。

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

区分	前中間連結会計期間 (自 平成17年4月1日 至 平成17年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成18年4月1日 至 平成18年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,656	△8,359
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,643	1,552
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,278	8,662
現金および現金同等物の増加額	978	1,855
現金および現金同等物の期首残高	3,006	2,264
新規連結に伴う現金および現金同等物の増加	—	213
現金および現金同等物の中間期末残高	3,985	4,333

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■ 営業活動によるキャッシュ・フローについて

主に買取不動産の純増額が7,110百万円(前年同期比6,947百万円増)、法人税等の支払額が1,363百万円(同776百万円増)となったことによるものであります。

■ 投資活動によるキャッシュ・フローについて

主に分配金の受取により匿名組合出資金の純減額が3,134百万円(前年同期比7,742百万円減)となったことによるものであります。

■ 財務活動によるキャッシュ・フローについて

主に短期借入金の純増額が2,325百万円(前年同期比1,426百万円増)、長期借入金の純増額6,879百万円(同663百万円増)となったことによるものであります。

中間連結株主資本等変動計算書 当中間連結会計期間(平成18年4月1日から平成18年9月30日まで)

(単位:百万円)

	株主資本				新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計			
平成18年3月31日現在	1,695	1,481	3,472	6,649	—	—	6,649
中間連結会計期間中の変動額							
新株の発行(新株予約権の行使)	24	24	—	49	—	—	49
剰余金の配当	—	—	△439	△439	—	—	△439
役員賞与	—	—	△28	△28	—	—	△28
中間純利益	—	—	1,443	1,443	—	—	1,443
関連会社増加に伴う利益剰余金増加高	—	—	△7	△7	—	—	△7
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額)	—	—	—	—	120	449	569
中間連結会計期間中の変動額合計	24	24	967	1,016	120	449	1,586
平成18年9月30日残高	1,719	1,506	4,440	7,665	120	449	8,235

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。



## 1 通期業績予想を上方修正

当中間期の連結および個別業績については、匿名組合出資により取得していた不動産を売却し、出資収益分配金約700百万円が発生したことに加えて、連結子会社が匿名組合出資を行い当社で管理回収業務を受託する債権のうち、大型案件の回収が進捗したことなどから、平成18年5月8日に公表した業績予想を上回る成果を収めました。

これに伴い、通期業績についても前回公表の予想数値を右表のとおり上方修正いたしました。

●平成19年3月期 連結業績予想(単位:百万円)	営業利益	経常利益	当期純利益
前回(平成18年5月8日)発表予想(A)	16,800	4,500	2,600
今回修正予想(B)	20,200	5,400	2,800
増減額(B-A)	3,400	900	200
増減率(%)	20.2%	20.0%	7.7%
前期(平成18年3月期)実績	15,947	4,029	2,353

●平成19年3月期 個別業績予想(単位:百万円)	営業利益	経常利益	当期純利益
前回(平成18年5月8日)発表予想(A)	12,800	2,200	1,200
今回修正予想(B)	12,800	2,900	1,700
増減額(B-A)	-	700	500
増減率(%)	-%	31.8%	41.7%
前期(平成18年3月期)実績	9,903	1,928	1,137

## 2 機関投資家・アナリスト向け中間決算説明会を開催

平成18年11月10日に東京証券取引所において、機関投資家およびアナリスト、金融機関の方々を対象とした中間決算説明会を開催いたしました。

当日は約70名の方にご参加いただき、代表取締役社長の天野量公による中間決算の概要と通期見通しの説明をはじめ、参加者による質疑応答と約1時間にわたりに行われました。

なお、説明会の模様は当社のホームページ上にて、動画配信を行っておりますので是非ご覧下さい。  
(<http://www.nissin-servicer.co.jp>)



## 多くのご意見をお寄せいただき、誠にありがとうございました。

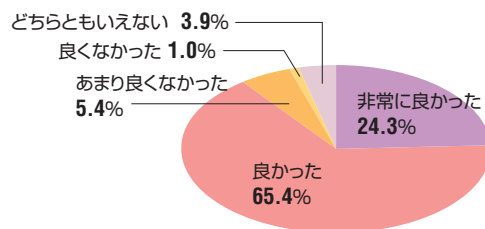
本誌前号（第6期第1四半期報告書）において実施させていただいた株主様アンケートに、平成18年10月31日現在1,192通のご回答をいただきました。誠にありがとうございました。

集計結果では、第1四半期報告書の感想について、8割を超える皆様から「非常に良かった」ないし「良かった」との評価をいただきました。その内容については、「社長挨拶・ニュースリリース」および「財務諸表」を挙げられた方々が多く、具体的に「内容が簡潔で、会社のメッセージが伝わりやすい」「グラフによる業績の把握がしやすい」「財務諸表の解説が分かりやすい」といったご意見を多数ご記入いただきました。

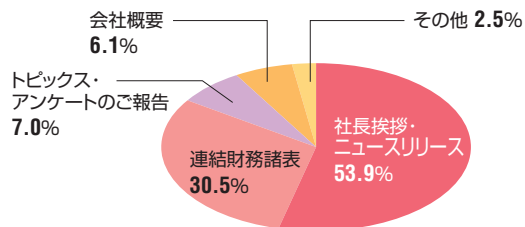
また、本誌の発行そのものに対して寄せられた、「四半期毎の送付を情報開示姿勢として高く評価する」といったご支持の言葉に力づけられるとともに、今後とも株主の皆様への、わかりやすく充実した情報提供を心掛けていく所存でございます。

当社に対するご意見・ご要望の記入欄には、順調な業績拡大への評価激励の他、現在の株価推移についてのご意見や、株式分割に対するさまざまな声が寄せられました。当社は、事業のさらなる発展を目指し、株主価値の増大に向けて邁進していく中で、お寄せいただいた貴重なご意見を経営に活かし、皆様のご期待にお応えできるよう努めてまいります。

今回の第1四半期報告書をお読みになって、どのような感想をお持ちになりましたか？



そのように感じた項目をご記入下さい。



## 株式の状況

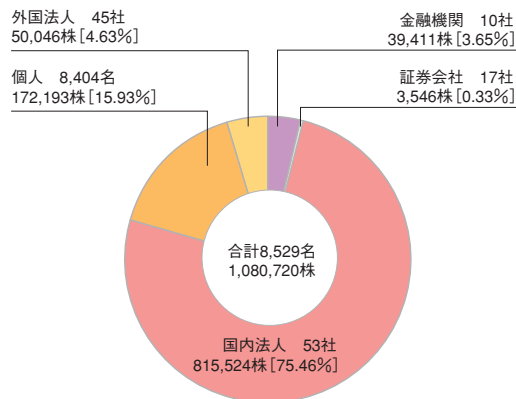
(平成18年9月30日現在)

発行可能株式総数	3,200,000株
発行済株式の総数	1,080,720株
株主数	8,529名

## 株式の分布状況

(平成18年9月30日現在)

## 所有者別



## 大株主

(平成18年9月30日現在)

	所有株数(株)	持株比率(%)
株式会社ニッシン(現NISグループ株)	800,000	74.02
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	15,337	1.42
天野量公	12,000	1.11
資産管理サービス信託銀行株式会社 (証券投資信託口)	10,455	0.97
アイルランドスペシャル ジャスティック レンディング アカウト	10,234	0.95
シー エム ビー エル, エス エー リ・ミューチャル ファンド	9,914	0.92
寄岡正一	8,440	0.78
コナテッド ネーションズ, フォーザ コナテッド ネーションズ ジョイント スタッフ ペンション ファンド ア ユー・エヌ オーガン	7,303	0.68
合田益己	7,140	0.66
ゴールドマン・サックス・インターナショナル	4,774	0.44

## ☆株主様アンケートにご協力をお願いいたします。

当社では、本誌「IR PERSONALITY」を株主の皆様と当社を結びコミュニケーションツールとして活用してまいりたいと存じます。同封のアンケート葉書を通じて、株主の皆様のご意見をお寄せ下さい。お寄せいただいた内容は、今後の経営および「IR PERSONALITY」の誌面作成に活かしてまいります。

アンケートにご協力いただいた方の中から抽選で1,000名様に図書カード(500円)を進呈いたします。

(締切：平成19年2月28日(水)当日消印有効)

## ☆個人情報の取り扱いについて。

当アンケート葉書にご記入いただきました個人情報については、その使用目的を次の3つの事項に限定し、他の用途に使用することは決してございません。

また、情報の管理については十分に注意いたします。

- ① アンケートご回答の分析
- ② 図書カードの送付
- ③ 個人株主様あてIR活動に関するお知らせの送付

## 会社の概要

(平成18年9月30日現在)

商号	ニッシン債権回収株式会社 (NISSIN SERVICER CO., LTD.)
設立	平成13年7月11日
本社	東京都新宿区西新宿1丁目25番1号 新宿センタービル8F TEL.03-5326-3971(代表)
営業許可	平成13年10月25日(法務大臣許可番号第58号)
資本金	17億1,982万5千円
従業員数	80名

## 役員

(平成18年9月30日現在)

代表取締役社長兼執行役員	天野 量公
常務取締役兼執行役員	合田 益己
取締役	清水 克敏
取締役兼執行役員	豊嶋 秀直(弁護士)
取締役	嵯岡 秀夫*1
常勤監査役	新名 忠矩
常勤監査役	森田 昌弘
監査役	吉本 修二*2
監査役	山田 啓之*2

\*1 取締役嵯岡秀夫は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。

\*2 監査役吉本修二および山田啓之は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

執行役員	森泉 浩一(アセットマネジメント部長)
執行役員	山口 達也(経営管理部長)

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 3月31日 中間配当 9月30日 期末配当 3月31日
株式の売買単位	1株
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社

同事務取扱場所	〒135-8722 東京都江東区佐賀1丁目17番7号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL.0120-288-324
同取次所	みずほ信託銀行株式会社全国各支店 みずほインベスタース証券株式会社本店 および全国各支店
公告の方法	電子公告により行います (http://www.nissin-servicer.co.jp/)

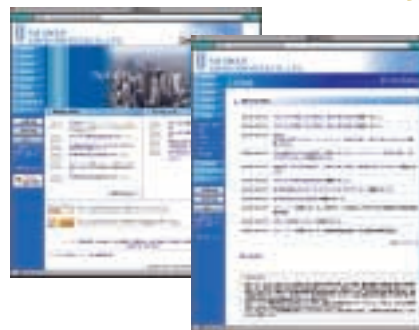
## 関係会社一覧

(平成18年10月1日現在)

連結子会社	有限会社ジェイ・ワン・インベストメンツ 有限会社ミヤコキャピタル 有限会社ジェイ・ツー・中国投資 他12社
関連会社	有限会社シー・エヌ・キャピタル 有限会社シー・エヌ・ツー 有限会社シー・エヌ・スリー 有限会社シー・エヌ・フォー 有限会社シー・エヌ・インベストメンツ ストラテック株式会社 他3社
親会社	NISグループ株式会社 (ニューヨーク上場NIS・東証一部8571)

## ホームページ

<http://www.nissin-servicer.co.jp>



[将来予測に関する記述について] 本資料には、当社グループの意図、信念、現在および将来の予測、または連結、個別の業績、財務状況に関する経営陣の意図、信念、現在および将来の予測に関する記述が収録されており、記載されている歴史的事実以外の将来に関するすべての記述につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測であります。かかる将来予測に関する記述は、将来の業績を保証するものではなく、潜在的なリスクや不確実性を伴うものであり、実際の業績はさまざまな要因により将来予測に関する記述とは大きく異なる可能性がありますのでご留意下さい。なお、リスクや不確実な要素には、将来の出来事から発生する重要なかつ予測不可能な影響も含まれます。